

# 新年のごあいさつ

垂水市議会議長

新たな時代を市民とともに

垂水市長

喜びを分かち合える年に

謹賀 新年

**新**年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと思います。

昨年は、垂水市市制施行60周年を迎え、さまざまなイベントが開催され、活気あふれる1年となりました。記念式典では、多年にわたる本市の発展に貢献された155名・55団体の方々が表彰され、感謝の意をお伝えさせていただきました。記念事業では、「出張！なんでも鑑定団in垂水」や、「NHKのど自慢」の放送が行われ、市民の皆様にお楽しみいただきました。併せて全国に本市をPRできたものと考えております。

また、市民の健康長寿や介護予防等を目的に取組を進める「たるみず元気プロジェクト」健康チェックには、1000人を超える  
**謹**んで新年のお慶びを申し上げます。市民の皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと思います。

昨年を振り返りますと、国際的には、冬季オリンピックが韓国平昌で開催され、これまで最多の13個のメダル獲得という日本選手の大活躍がありました。また、一触即発とまで言われておりましたアメリカと北朝鮮の関係も両首脳の間歴史的会談により一転、危機的状況は回避されました。これからは、さまざまな合意がなされ、平和的解決に向けて進んでいくのではないかと期待しているところではあります。

一方、国内におきましては、活発な梅雨前線の影響により、西日本の広い範囲で豪雨が発生、土石流等の被害により、多数の方々が

方々にご参加をいただき、健康に対する意識付けに繋がったものと考えているところでございます。

たるみずスポーツランドにおいては、「第1回垂水市市民スポーツフェスティバル」が開催され、子どもたちと高齢者が一緒に行なう新しい種目で、すがすがしい汗を流し、笑顔溢れる光景が見られました。地域のつながりの大切さを再認識し、地域間および市民間の親睦がより一層深まる1日となりました。

新庁舎建設におきましては、災害時の防災拠点としての機能を備え、市民の安全な暮らしを支える役割に加え、開放的で多くの市民が集い交流の場となるような庁舎建設を目指しているところでございます。

「道の駅たるみずはまびら」が昨年11月にオープンした。さらには大阪北部地震、北海道胆振東部地震においても犠牲者、建物被害等も多数に上り、いまだに多くの方々が避難所に身を寄せられております。1日でも早い復興を願いたいと思います。

幸いにも本市では大きな災害等もなく安堵しておりますが、改めて災害に対する訓練や対策の必要性を感じたところです。

また、本市においては、市制施行60周年という記念すべき年を迎え「NHKのど自慢」や「出張！なんでも鑑定団in垂水」をはじめさまざまなイベントが開催され、多くの市民の皆様とともに参加できたことに喜びを感じております。

さらに、昨年11月には、本市の新たな拠点「道の駅たるみずはまびら」が、オープンしました。当日は、多

し開駅記念式典を行いました。今後、「道の駅たるみず湯つ足り館」、「森の駅たるみず」の3つの拠点が連携し、交流人口の増加を図り、地域活性化に向け取り組んでまいります。

さて、今年「己亥年」です。どんな相手にも向かっていく勇氣や冒険の年であり、「無病息災」の意味もあるとも言われます。市民の皆様が「健康で住んで良かったと思えるまちづくり」に向けて、「垂水市の発展」と「市民の幸福」の為に努力を重ね、市政運営に努めていく覚悟を持ち、皆様と喜びを分かち合える年にしたいと考えております。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい1年となります事を心から祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。

くの方々が訪れ大変な賑わいでございました。今後は、北の拠点「道の駅たるみず」、中央の拠点「森の駅たるみず」とともに親しまれる施設を目指していただき、交流人口が増えることに期待したいと思っております。

さて、平成最後の年がスタートいたしました。市議会におきましては、改選の年でもあります。4月から市民の生活、福祉の向上のために、新たな陣容で臨むこととなります。市政の主人公である市民の皆様が「住んで良かった」と思えるまちづくりを実践するべく、執行部との連携を保ちながら皆様の声を市政に反映させる重要な責務を果たしてまいります。

皆様はこの1年が素晴らしい年でありませうと祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。